

# ニュース・しきしま 特別号



## Vol.49

December edition

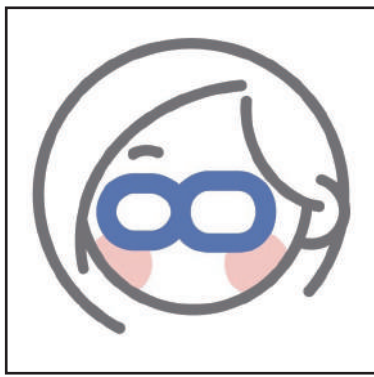
通算 50 号に向けた準備号 ～節目を前に、ニュース・しきしまの裏側をお見せします～

ニュース・しきしまは、2012年に創刊して今年で9年目を迎える地域密着型のローカル紙です。間もなく節目の50号を迎えようとしていますが、9年という月日は、小学1年生がもうすぐ高校生になるように、決して短い期間ではないことは言うまでもありません。今号は、50号直前の準備号として、創刊当初から本紙の制作を支えている「東日本デザイン&コンピュータ専門学校 デザイン研究部 (SENSE Design Lab)」にスポットを当てて、これまでのニュース・しきしまを振り返ります。



## INTERVIEW デザ研元部長にニュース・しきしまの思い出について聞きました!

『ニュース・しきしま』の『フォーマットデザイン』をした小平さんのご紹介



sense8th 部長  
小平 侑香里さん

**お祝いコメント**  
最初期に携わらせて頂いた身として感慨深く嬉しい限りです。8年繋いで下さった皆さんに感謝です。50号おめでとうございます。

### Q&A

**Q 現在何をしていますか?**

A. DTPデザイナーとして勤めていましたが、結婚後は夫の後押しもあり在宅でイラストを描かせて頂いております。主婦業の傍ら改めて本当にやりたかった事に挑戦している最中です。

**Q 思い出に残っていることはなんですか?**

A. ニュースしきしまのデザインを提案させて頂いた際、自分のフォーマットが採用され嬉しかった事が印象に残っています。現在も使って頂いており関係者の方々に御礼申し上げます。

**Q 作成時の裏話がありますか?**

A. 年上の部員がいる中で部長という立場だったため、外部の方とやり取りをする際しっかりとしなければとプレッシャーで空回りしていました。先生がいない所でアドバイスをくれた年上の同級生部員には感謝しています。



▲ニュースしきしま第3号

# COMMENTS 裏方さんからの祝いコメント



オリエンタル群馬  
ニュースしきしま担当者  
三友 千春さん

学生プレスがいく！の取材では、敷島に自分のお店を持ち、描いた夢や挫折、これからの希望など、お店を通じて店主の人生を伺うことができました。学生の皆さんの真剣な眼差しが、敷島のまちと一緒に創る皆さんの心を動かしてきたコーナーでもあります。どの取材も、昨日のこのように鮮明に思い浮かびます。根本先生を始め、歴代のデザ研の皆さまには大変感謝しています。今後も、敷島公園のある敷島のまちを、皆さんとともに創り続けていけることを楽しみにしています。



東日本デザイン&  
コンピュータ専門学校  
デザイン研究部 顧問  
根本 剛さん

50号おめでとうございます！これまでの取材の様子ブログを見返しましたが、本当に懐かしい。今では社会人として活躍しているOBOGですが、かつてはデザ研で将来の夢を描きながら頑張っていたのが昨日のこのようです。約100ヶ月間継続できたことは正直驚いていますし、『敷島』という地域とこれほど活動をともにしているサークルなんて無いと思います。まさに生きた教科書『ニュース・しきしま』に感謝しています。今後、形は変わりますが、後輩が活動を継承してもらえることを楽しみにしています。

# COMMENTS 歴代部長さん方々からの祝いコメント



9 sense9th 部長  
澤木 美沙子さん

この度はおめでとうございます。ニュースしきしまが50号の節目を迎えられたこと、制作に携わった一人として大変嬉しく思います。



10 sense10th 部長  
西澤 明穂さん

50号おめでとうございます！貴重な経験となり糧となるこの企画に携われたことを光栄に思います。今後も応援しております！



12 sense12th 部長  
加藤 光南海さん

50号おめでとうございます！自分が携わった紙面を見直して懐かしくなりました。ニュースしきしまが100年まで続くよう応援しています。



14 sense14th 部長  
盛山 虎大朗さん

ニュースしきしまに携わらせて頂けてとても勉強になり貴重な経験になりました。50号おめでとうございます！



15 sense15th 部長  
庄子 侑希さん

この度はニュースしきしま50号おめでとうございます！このような長い歴史のある広報紙に携わることができて良い経験になりました。

# AFTERWORD

## 地域連携 with コロナ

■今回のニュースしきしまの製作過程において、新型コロナウイルスの影響に伴い、制作関係者が一つの会議室に集まれなかったり、現地取材ができなかったりと、3密を避けるために色々と制限がありました。新型コロナウイルスの感染拡大が始まって約1年が経過した今も感染が治まる様子はないことから、今後も引き続き、withコロナを考慮した地域連携のやり方について検討、試行が必要であると感じています。この変化する社会状況をチャンスと捉え、新たな取組みを推進していきますので、引き続き、ご愛顧のほど、よろしくお願い致します。

(株)オリエンタル群馬 井階 渉

## ニュースしきしまは次号より新しくなります！

■9年間にわたり、敷島公園とその周辺情報を発信してきたニュースしきしまですが、来春、装いも新たにうまれ変わります。敷島公園の情報以外にも、近年関東圏でも知名度をメキメキと上げている、日本一なつかしい遊園地としておなじみのるなばあく（前橋市中央児童遊園）の情報や、公園にまつわる様々なお話など、新たな視点を取り入れた情報紙づくりを目指します。

これまでの9年間、ご愛読いただきありがとうございました。そして、あなたに最も近い超ローカル紙として、これからもよろしく願いいたします。

(株)オリエンタル群馬 岡田 達郎

1月下旬に群馬県立敷島公園にて、  
「ニュース・しきしま 展示会」を開催予定 乞うご期待♪